

南アルプス警察署協議会 令和８年度第２回定例会議 議事概要	
開 催 日	令和８年７月１７日（金）
開 催 場 所	南アルプス警察署大会議室
出 席 者	協議会 会長及び委員 ６名 警察署 署長、副署長、各課長 ９名
議事概要等	１ 令和８年４月から６月までの業務推進状況 (1) 会計課関係 ア 遺失物・拾得物の取扱い状況 イ 施設の主な改修状況 (2) 警務課関係 ア 広聴事案取扱い状況 イ 留置管理業務関係 ウ 警察安全相談業務関係 エ 県下柔道大会入賞 オ 各種取組 (3) 生活安全課関係 ア 電話詐欺、ＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺発生状況 イ 人身安全関連事案対応状況 ウ 主な犯罪抑止活動 (4) 地域課関係 ア １１０番通報の受理状況 イ 地域警察活動状況 ウ 山岳遭難関係 (5) 刑事課関係 ア 認知件数と検挙状況 イ 逮捕被疑者 ウ その他発生状況 (6) 交通課関係 ア 交通事故発生状況 イ 交通事故抑止対策の推進状況 (7) 警備課関係 ア 災害対策 イ オウム真理教風化防止対策及び有事への備え ウ 南アルプス市外国人登録状況 ２ 意見・要望等の聴取 (1) 前年よりも１１０番通報が増えているとのことだが、どのような内容の通報が多いのか。 【回答】 事件事故を始め、詐欺などの不審電話、さらには、各種情報等となっている。

- (2) 高齢者による交通事故の発生状況は。

【回答】

管内の人身事故のうち、65歳以上の高齢者が関連する事故は、約43%を占めている。特に年齢別では70歳から74歳までの方の事故、事故類型別では追突事故が増加傾向にある。

高齢者に対する講習に加え、運転が不安な方には、サポートカー限定免許や運転免許の自主返納制度等を紹介し、今後の運転に関して選択肢を増やしてもらえるような取組も積極的に図っていく。

- (3) 毎年、果実の盗難被害の報道を目にするが、現在の対策はどのように行っているか。

【回答】

自治体やJA、防犯団体と連携し、警戒を強化している。警戒については、収穫時期や収穫エリアを絞り、効果的な警戒活動を図っている。

JAとは、収穫期前から連携を強化し、生産者への防犯カメラや防護柵などの設置促進を強化している。

- (4) 子ども110番の家とは、どのようなものか。

【回答】

子ども110番の家は、子どもが不審者に声をかけられたり、身の危険を感じた場合に、一時的に保護をして学校や警察に通報するボランティア協力の民家や商店のこと。

当署管内では、110番の家を各学校が把握している。

自治体、教育委員会が取りまとめており、現在も機能している。

高齢化などの理由により減少傾向にあるため、コンビニエンスストアや商業施設への移行を推進している。

- (5) 警察として災害発生時に備えてどのような機材を揃えているのか。

【回答】

警察署としては、電動発動機やバルーン投光器、チェーンソー等の工具、さらにはボートなどを備えており、定期的な点検と使用方法の確認・訓練を行っている。

当署には重機がないため、機動隊や管内で連携協定を締結している建設会社等の協力を得て救助や撤去作業を行うこととなる。

- (6) 地域の安全安心のために活動するボランティアの減少と高齢化が進んでいると実感している。

次世代を担う若者の確保についてどのように考えているのか。

【回答】

まさに地域の安全安心に関するボランティアの高齢化・減少は全国的な課題となっている。

今回の意見を参考に、学生が楽しく、そして無理なく参加出来るボランティア団体を結成できるよう後押していきたい。

早急に管内の高校と調整し、学生による安全安心ボランティアの結成について働きかけ、形にしたい。



【会長あいさつ】



【署長あいさつ】



【署員による説明】



【委員による質疑】